

『北海道の防災考古学—遺跡の発掘から見えてくる天災』

刊行のお知らせ(2020年8月7日初版第1刷)

防災の第一歩は、まず災害を知ることから。

本書は、北海道の遺跡発掘調査で発見された「天災痕」122遺跡分を収録しました。各地で遺跡の調査を担当してきた執筆者たちが、北海道の天災の過去に迫った1冊です。

はじめに

序章 遺跡に遺る天災を識る

第I章 旧石器時代の天災痕と遺跡

第II章 縄文時代の天災痕と遺跡

第III章 続縄文時代の天災痕と遺跡

第IV章 擦文時代の天災痕と遺跡

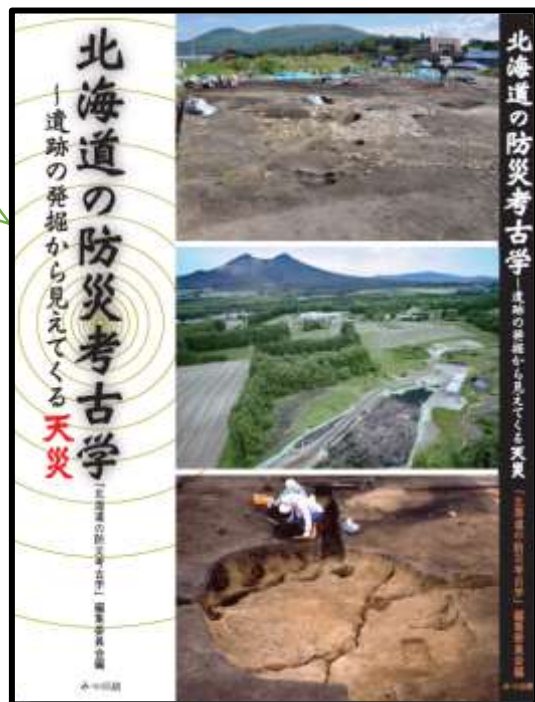
第V章 アイヌ文化期の天災痕と遺跡

第VI章 時代帰属が不明確な天災痕と遺跡

第VII章 天災の現在(いま)に立ち向かう!

あとがき

執筆者：阿部明義・飯島義雄・石橋孝夫・稲垣森太・乾哲也・
氏江敏文・内山真澄・上屋真一・斉藤謙一・酒井秀治・榊田朋広・
坂本尚史・佐藤一志・佐藤雄生・添田雄二・高杉博章・塚田直哉・
中山昭大・永谷幸人・西川萌・長谷山隆博・福井淳一・柳瀬由佳・
矢吹俊男・山田央・横山英介(北海道の考古学関係者総勢26名)



発行：「北海道の防災考古学」編集委員会編：氏江敏文、福井淳一、中山昭大、坂本尚史、阿部明義、酒井秀治、柳瀬由佳

遺跡の発掘調査で見つかるのは、ヒトの暮らした痕跡だけではありません。「天災痕」：地震、洪水、津波、地すべり、土石流、火山噴火、風砂、高波などの痕跡も見つかри、記録されます。本書では、北海道内例を丹念に集めました。**普段の暮らしに役立つ防災考古学の集大成です。**

印刷・製本：株式会社みつ印刷 岡山市北区田益 1302-1

A5版 235頁 販売価格：2530円(税込み)

送料：1部180円(スマートレター)

申し込み先：「防災考古学」編集委員会

〒069-0847 北海道江別市大麻ひかり町11-9

bousaikougaku@gmail.com (事務局 福井淳一)

口座番号：ゆうちょ銀行 02750-7-50955

住所・氏名・電話番号と共に注文願います。

六一書房での取り扱いも始まりました！！

<https://www.book61.co.jp/book.php/N86238>

